

行動経済学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》岩立顕一郎（非常勤講師）

【概要】

人間行動や社会現象を解釈し将来を予測するためには、個々人の心や行動の特性について知るのみならず、個人間の相互作用におけるダイナミクスについて知る必要がある。この講義では、個人の意思決定や確率判断、選好における個人のバイアスや特性に関し行動経済学で示されてきた主要な知見について学ぶとともに、集団での相互作用や意思決定場面において、どのようにして判断や行動が生じるかについて学ぶことを目的とする（一部、社会的相互作用に関する社会心理学の知見も紹介する）。

【学修目標】

個人の意思決定・確率判断・選好の性質を理解する。
集団における意思決定や行動のダイナミクスを理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験を活かした教育内容】

キャリアコンサルタント